修学旅行に百万弗のお年玉

東海三縣に専用電車新造

小倉副総裁よい子へ置土産

愛知、岐阜、三重など三県連合修学旅行委員会では、東海地方に修学旅行専用電車新設のため、第一回を十二月七日、国鉄本社に対し熱心な陳情運動を展開した結果、中京地方にも京浜や阪神同様の快適な修旅専用電車が走る、という新春の明るいニュースが生れた。

この明るいニュースのかげには東海三県連合の各修学旅行委員会を始め、地元PTAや関係諸氏のなみなみならぬ努力があるわけであつて、去る十二月七日下記代表者による国鉄陳情に対して、国鉄側は具体的な計画の全ぼうを発表し関係者を喜ばした。

愛知修学旅行委員会　会長渡辺嘉一氏（愛知県小学校長会長―名古屋市東桜小学校長）　幹事伊藤一男氏（名古屋代表―名古屋市笹島中学校長）　幹事松井正一氏（三河代表―蒲郡市蒲郡中学校長）　田島秀二氏（尾張代表―津島市天王中学校長）　事務局長宮本秀吉（全修協愛知県支部長）事務局　福田元行氏

岐阜修学旅行委員会　幹事河出修一氏（岐阜市教育長）　委員本田実浄氏（県教委学校指導課指導主事）　委員深浦泰平氏（岐阜市加納中学校長）　横家五郎氏（多治見市陶都中学校長）　大橋春吉氏（大垣市川並中学校長）　事務局長仲沢倹次郎氏（全修協岐阜県支部長）

三重県修学旅行委員会　木下四郎氏（三重県中学校長会長―津市立橋南中学校長）　伊藤磐氏（三重県中学校長会書記―津市立西橋内中学校長）　柴田哲雄氏（三重県学生協常務理事―津市立橋北中学校長）

の代表十五名に、全国修学旅行研究協会理事長山本種一氏外役員四名及び介添として通産省政務次官原田憲氏（衆議院議員）などと共に、国鉄本社の小倉副総裁、長瀬旅客課長に陳情したところ、東海地方にも「修旅専用電車」を新造する旨の回答があつた。なおこの新車を造るには国鉄利用債引受けの申請書を出し、許可のおり次第に建造に取りかかると、大体三カ月位で出来上るので、早ければ、四月二十日頃から新車が使用できる予定である。若し、新車の建造が延びた場合は、既報の湘南型電車を東海地方に回送して修旅生徒の輸送にあてることになつており、この方のダイヤについては、国鉄当局では成案ができている。

さて、こんどの修旅専用電車は、東海準急に使われている湘南型電車が十両造られる予定で、一編成八〇〇名が輸送できることになつている。

十二月七日の陳情の際、長瀬旅客課長は、修旅生徒輸送のスケジュール作製に当つては、全国組織の全国修学旅行研究協会によつてまとめられた東海三県連合修学旅行委員会が中心となり、国鉄側と緊密な連絡を取りつつ、輸送計画を立てるように要望された。

この朗報について渡辺嘉一氏（愛知修学旅行委員会々長）は次の様にその喜びを語つている。

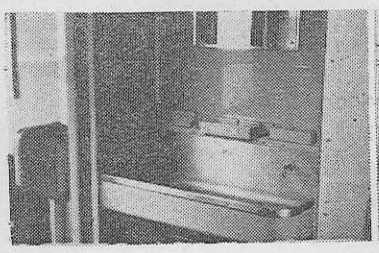
「国鉄が東海地方に修旅専用電車を新造する英断に出られたことは地元の教職員やPTAを始め、全修協や原田次官など熱心な支援のお陰と非常に感謝しています。なお今後の具体的なことは、国鉄中部支社と直接交渉によつて解決してゆきたいと思つています」

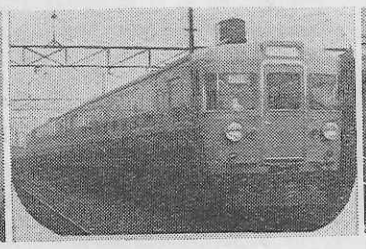
口添役をつとめた通産政務次官原田憲氏は

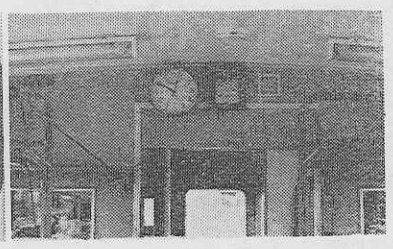
「こんどの成功は地元陳情団の熱意によるものといえるが、今後の運営については産婆役を行つた全修協の山本理事長とよく相談してやつてほしい」

と述べている。産婆役の全修協山本理事長は、地元の熱心な応援と現場教職員の熱意に子供の教育愛に立つた各関係者の一体になつた努力の賜だと前置きしながら、

「東海地方に修学旅行の専用電車の出来ることは画期的な事で、安全輸送のため喜びに耐えません。必ず生徒の父母も安心されることと信じています。なお、今後の問題として、専用電車をどのように修学旅行に活かすか、京浜、阪神の先進県に比較して、どのように地域性を考慮して運営していくか等が残されていると思います」と語つている。







写真説明（上）専用電車新設のため国鉄本社へ陳情中の東海三県修旅委会代表―右端は小倉副総裁
写真説明（下）新型湘南型電車の全景（中）時計、速度計（右）手洗所（左）

各界名士のアンケート

修学旅行の思い出と感想

（一）先生の学生時代における修学旅行で最も印象の深かつたこと

（二）現在の修学旅行についての御感想

（先着順敬称略）

日本社会党書記長　浅沼稲次郎

（一）中学四年の時足尾、日光、五年の時箱根旅行をやつたことを覚えて居ります。学生同志ワイワイシは思い出に残る一つ。修学旅行は良いものであります。

（二）最近は規模が大きくなつたと思います。旅行前にその地の情況、歴史、地理等をしつかりつかんでおくことが必要と思います。

日本社会党書記長　鈴木茂三郎

（一）私は学生時代に修学旅行をしたことがありません。高等小学を卒業するとき、はじめて名古屋市に汽車で十五里余を旅行することになりましたが会費五十銭の支払いが出来なくて不参、同窓生が汽車の窓からたのしそうな顔をして旅行に出かけるのを見て泣いたことをおぼえて居ります。

（二）現在の学生は修学旅行が出歩くことを本体とし、バスを使わぬこと。地理、歴史、自然科学の先生を目的に応じ必ず指導者として説明者とすること。

東京大学教授　飯塚　浩二

（一）中学低学年（五中）のとき夏休みに長野の農村（北佐久）に連れていかれ、田の草取り、桑摘みの手伝いをしたこと。都会育ちのせいでしようこれがいちばん印象に残つています。

（二）どういう目的で行われているのか知りませんので、意見のもちようもありません。

日本社会党書記長　浅沼稲次郎

（一）中学四年の時足尾、日光、五年の時箱根旅行をやつたことを覚えて居ります。学生同志ワイワイシは思い出に残る一つ。修学旅行は良いものであります。

（二）最近は規模が大きくなつたと思います。旅行前にその地の情況、歴史、地理等をしつかりつかんでおくことが必要と思います。

日本社会党書記長　鈴木茂三郎

（一）私は学生時代に修学旅行をしたことがありません。高等小学を卒業するとき、はじめて名古屋市に汽車で十五里余を旅行することになりましたが会費五十銭の支払いが出来なくて不参、同窓生が汽車の窓からたのしそうな顔をして旅行に出かけるのを見て泣いたことをおぼえて居ります。

（二）現在の学生は修学旅行が出来て幸福だとおもいます、無理な日程をつくつてせつかくの旅行を不愉快にすることのないよう旅行の成果は、内容を充実させるようにしてほしいものです。

通産政務次官

衆議院議員　原田　憲

（一）小学校の修学旅行で伊勢参宮が印象に残る唯一の旅行であります。二見が浦の日の出と、内宮の深厳さ、五十鈴川の清流が印象に残つている。

（二）修学旅行を疲労の旅行とし、日本人の公衆道徳の欠除が今尚見られる事は残念である。

参議院議員　矢嶋　三義

（一）私は田舎の小学校、中学校に学びましたので旅行といつても日帰りのことが多かつたのですが、一度温泉地に行つたことがあります。皆大旅行にでも行くように大ゲサな仕度をして行つたことが印象に残つています

（二）百聞一見にしかずで、教育効果面からみて結構ですが最近は仲介業者など利益をうる手段にしている面があり、修学旅行をそうした態度でとり極めることは厳に禁じなければならないと思います

衆議院議員　杉山元治郎

（一）私の学生時代といつても明治の三十年代で随分昔の話です。大阪府立農学校で全国から生徒が集つて来ており全部寮宿生活ですから、修学旅労といつてもスパルタ式で軍隊の強行軍の様なもので殆んど徒歩で笠置山とか金剛山とかによく登つたものです。夕方疲れた足を引きづりながら軍歌を歌いつつ進み、岩屋の火が見えた時のられしさが今も忘れない。

（二）現在の修学旅行は余り知らない、批評するのも何らかと思うが、民主主義のせいか先生と生徒の区別が立たず規律もきりつとして居らない様な気がするが、老人のひがみか。

参議院議員　神近　市子

（一）私共の子供時代は小学校でもキリスト教の女学校で、修学旅行研究校及び発表会は、中学校二、高校一に決定、各校の担当者は研究テーマに基き、着々と研究が進められているので、その成果が今から大いに期待されている。研究指定校、研究テーマ、発表者、発表期日は次の通りである。

修学旅行研究指定校決る

研究発表は1月20日より

一、神奈川県藤沢市立第一中学校
「本校の日光旅行について」
教諭　伊藤　俊男
外県内より数氏の発表あり、
発表期日　一月二十日（水）

二、熊本市立五福小学校
「熊本市立小学校修学旅行長崎コース実施の状況」
五福小学校　教諭　本田　敏雄
「熊本市立中学校修学旅行北九州コースの計画」　江南中学校　教諭　淵上　久孝
「中学校　京阪地方修学旅行の　実態と問題点」　北部中学校長　大橋登美雄
「高校東京地方修学旅行実施の問題点」
県立熊本高校　教諭　村上　一幸
発表期日　一月下旬

三、兵庫県立兵庫高等学校
「グループ指導による修学旅行」　教諭　伴　和夫
「題未定」　奈良市立若草中学校　教諭　笹井　精一
「題未定」　京都市立西京高校　教諭　半田　弘
発表期日　二月中旬

謹賀新年

小・中学生の雑誌と学習図書について
本年もよろしく、ご指導とご援助をお願いいたします。
東京都千代田区神田一ッ橋二の五
株式会社小学館

謹賀新年

旧年中は度々のご用命を頂き厚くお礼申し上げます
本年も‥修学旅行
‥のご用名を！
多年の信用・最新の技術・最大のサービス
営業所 全国主要都市百数十ヶ所
近畿日本ツーリスト
本社　東京都千代田区丸の内（国際観光会館内）TEL(23)5561